

牛群検定通信 No69

◇ 牛群検定40周年記念 優良事例表彰！ ◇

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。牛群検定の40周年に伴い乳用牛群検定全国協議会では優良事例として都府県から農家4戸、指導2例を表彰及びご講演頂きました。その概要をお知らせします。

1 東京会場 11月19日 東京都 東京大学弥生講堂

優良事例1 栃木県那須烏山市酪農家 高瀬 賢治 氏

タイトル「将来性のある牧場を目指して」

牛群検定に昭和55年から35年間の長きにわたり参加され、検定成績を様々に活用されております。その現場で応用している工夫の数々を紹介して頂きました。

優良事例2 長野県高山村酪農家 前田 勉 氏

タイトル 「酪農人生に夢あり」

昭和49年頃にはカナダのハノーバーヒル牧場でハーズマンを勤められ、オールカナディアンを受賞されるなどの経歴をお持ちです。現在に至るまでの人生経験と牧場経営のノウハウを紹介して頂きました。

優良事例3 鳥取県大山乳業農業協同組合 今吉 正登 氏

タイトル 「牛群検定実施率100%へのアプローチ」

25年の長きわたり指導を担当されております。農家指導はもちろん、農家から信頼を得るために牛群検定そのものにも厳しい姿勢で向かっている旨を紹介して頂きました。

2 福岡会場 12月2日 福岡県 アクロス福岡

優良事例1 岡山県岡山市酪農家 亀山 昭博 氏

タイトル「すべての出逢いに感謝」

牛群検定には平成16年からの参加で、年数としては短いものです。しかし、廃業に近い状態の家業の酪農を多くの酪農指導者の方々のアドバイスを取り入れ、見事に立て直した実績を紹介して頂きました。

優良事例2 徳島県上板町酪農家 高瀬 敏 氏

タイトル「無理をしない、無駄をしない、牛も人も健康に！！」

牛群検定の第一期生として昭和50年当初から参加されており、まさに40年の牛群検定の歩みとともに酪農を営まれてきました。酪農経営にとって大切な技術、考え方を余すところなく紹介して頂きました。

優良事例3 ふくおか県酪農業協同組合 大神 與市 氏

タイトル「福岡県における牛群検定活用事例」

牛群検定が開始された昭和50年当初から農家支援を担当され、40年の長きにわたり県下でご活躍されてきました。福岡県内での牛群検定活用を詳細に紹介して頂きました。